

日本図書館情報学会会報

No. 170

2018年6月

日本図書館情報学会事務局

〒182-8525 東京都調布市緑ヶ丘 1-25

白百合女子大学 今井福司研究室内

(事務局業務に関する問合せ先)

(株)ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会

E-mail : office@jslis.jp 学会ホームページ : <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

定例（通信）総会の実施にあたって

会長 小田 光宏

2018年度の定例（通信）総会を実施いたします。お示しする議案は五つとなります。いずれも、本学会の運営における重要議案ばかりとなります。慎重なご審議のほど、お願い申し上げます。

第一号議案は2017年度の事業報告であり、第二号議案はこの報告に基づく決算ならびに会計監査の結果となります。なお、会計監査とは別に、監事による事業監査の一環として、実施した事業に対するご意見をいただいています。本年度は、秋の研究大会時に開催する会員集会に関して、記録を公開することが望ましいとの監査意見が、理事会において示されました。そこで、この意見に対処すべく、本会報では、2017年度の会員集会の抄録を掲載しています。

第三号議案と第四号議案は、2018年度の事業計画案と、それを実施するための予算案となります。第三号議案に関しては、根幹となる事業や活動の趣旨を2017年度と比べて大きくは変えてはませんが、いっそうの充実を図る内容となっています。この事業計画のために、第四号議案では、費用対効果を徹底させることを主眼に組み立てています。ここで、2017年度からの繰越金が4,260,978円となっており、2016年度からの繰越金額よりも増加しています。しかし、本年3月に発行した機関誌64巻1号の刊行経費が未払いであり、これが2018年度支出として処理されるため、実質的な繰越金額は、2016年度よりも減少しています。したがって、財政上の課題解決が必要とされる状況が、引き続き生じていることとなります。

本学会の将来をも左右しかねないこの問題に対して、理事会・常任理事会では、根本的な対応策となるのは、30年間据え置かれている会費額の改定であると認識し、過去2年度にわたり、いくつかの方法によって、会員各位のご意向を確認しながら、検討を重ねて参りました。第五号議案は、検討に基づく最終的な結論として、2019年度から、正会員の会費額を改定することを内容としています。学会運営の基盤を確実にする時機にあると判断し、ここに提案申し上げます。

以上、定例（通信）総会を実施するにあたり、会長として議案の骨子と背景を記しました。会員のみなさまには、それぞれの議案をご精査いただきますよう、お願い申し上げます。また、本学会の運営

に対して、忌憚のないご意見ならびにご助言をたまわれれば幸いに存じます。

2018年度定例（通信）総会

正会員各位

会長 小田 光宏

2018年度定例（通信）総会として、以下の議案の可否につきまして、投票用紙（着払いはがき）または電子投票のいずれかの方法にて投票をお願いいたします。投票方法の詳細については、同封の案内をご覧ください（総会は正会員によって構成されるため、名誉会員、学生会員、団体会員、賛助会員の皆様には、案内は同封していません）。

投票期日： 2018年6月30日(土)（郵送は当日消印有効，電子投票は23:59 まで有効）

- 議 題： 第一号議案 2017 年度事業報告
 第二号議案 2017 年度決算報告・会計監査報告
 第三号議案 2018 年度事業計画案
 第四号議案 2018 年度予算案
 第五号議案 日本図書館情報学会会費の改定について

第一号議案 2017 年度事業報告

1. 運営事業

(1) 定例（通信）総会の開催

投票締切日を 2017 年 6 月末日として定例（通信）総会を実施し、有権者数 667 に対し、投票総数 329、有効投票数 326 であった。投票の結果、全議案は成立した。投票は郵送及び電子投票によった。

(2) 理事会・常任理事会の開催

会務執行のため、下記のように開催した。

1) 理事会

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 第 1 回 2017 年 5 月 27 日（土） | 明治大学（東京都千代田区） |
| 第 2 回 2017 年 10 月 28 日（土） | 明治大学（東京都千代田区） |

2) 常任理事会

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 第 1 回 2017 年 4 月 23 日（日） | 明治大学（東京都千代田区） |
| 第 2 回 2017 年 7 月 9 日（日） | 明治大学（東京都千代田区） |
| 第 3 回 2017 年 10 月 15 日（日） | 明治大学（東京都千代田区） |
| 第 4 回 2017 年 12 月 2 日（土） | 明治大学（東京都千代田区） |
| 第 5 回 2018 年 1 月 28 日（日） | 明治大学（東京都千代田区） |

(3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として、2017 年 11 月 5 日（日）に椙山女学園大学（愛知県名古屋市）を会場として会員集会を開催した。

(4) 規程・内規等の改正・整備

日本図書館情報学会規約との整合性をとるため、選挙管理運営規程を改正し、内規等に関する整備を進めた。

(5) 委員会・ワーキンググループの開催

下記の委員会日程の他、各委員会ともメールによる審議・協議を随時行った。

1) 学会賞選考委員会

第1回	2017年7月24日(月)	慶應義塾大学(東京都港区)
第2回	2017年8月5日(土)	慶應義塾大学(東京都港区)
第3回	2017年9月30日(土)	慶應義塾大学(東京都港区)

2) 編集委員会

第1回	2017年5月20日(土)	専修大学(東京都千代田区)
-----	---------------	---------------

3) 研究委員会

第1回	2017年5月13日(土)	明治大学(東京都千代田区)
第2回	2017年12月9日(土)	明治大学(東京都千代田区)

4) 総務委員会および学会ウェブサイト見直しワーキンググループ

本年度は、会合を開かず、メールによる協議・審議のみを行った。

5) J-STAGE 運営ワーキンググループ

本年度は、会合を開かず、メールによる協議・審議のみを行った。

6) 学会国際化事業ワーキンググループ

第1回	2017年7月5日(水)	京都ノートルダム女子大学(京都府京都市)
第2回	2017年10月11日(水)	京都ノートルダム女子大学(京都府京都市)

7) 用語辞典検討ワーキンググループ

第1回	2018年1月28日(日)	明治大学(東京都千代田区)
-----	---------------	---------------

(6) 図書館情報学教育に資する事業の計画策定・遂行

2017年10月13日(金)に国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)にて、「図書館情報学教育の広がりと可能性：日本図書館情報学会の調査報告を基にして」をテーマに、日本図書館協会図書館情報学教育部会との共催でシンポジウムを開催した。

(7) 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.165(2017年4月)、No.166(同年6月)、No.167(同年10月)、No.168(2018年2月)を発行した(印刷版郵送・PDF版メール配信)。

(8) 学会広報の推進

学会サイトの管理・更新(会報・メルマガの掲載を含む)、メールマガジンの発行などを進めた。

(9) 学会サイトの見直し

WordPressを用いた新サイトを設置し、2017年12月31日(日)に移行を行った。

(10) 事務局業務の一部委託

会員管理、会費管理、発送業務等、事務局業務の一部を株式会社ガリレオに委託した。

(11) 学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈

本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、個人会員を対象にその功績が顕著であると認められる者の検討を行ったが、該当者なしとなった。

(12) 学会の財政状況の検討ならびに、改善計画の策定

学会の財政状況を確認し、また会報の印刷版の見直し、会費額の改定に関して検討を行った。また会員からの意見を聴取した上で、具体的な改善計画の策定を行った。

2. 研究促進事業

(1) 第 65 回研究大会の開催

第 65 回日本図書館情報学会研究大会を 2017 年 11 月 4 日（土）、5 日（日）に椋山女学園大学（愛知県名古屋市）にて開催した。研究発表は 22 件で、参加者は 147 名であった。

(2) 研究大会におけるシンポジウム開催

第 65 回研究大会 2 日目午後、「研究者が現場と関わりながら研究をすること：医療健康分野で考える」をテーマに、シンポジウムを一般公開で開催した。

(3) 2017 年度春季研究集会の開催

2017 年度春季研究集会を 2017 年 6 月 3 日（土）に専修大学神田キャンパス（東京都千代田区）にて開催した。研究発表は 23 件（申請 24 件、辞退 1 件）で、参加者は 153 名であった。

(4) 研究助成の募集・交付

研究助成の募集を行い、審議の結果、以下の 1 件に対して研究助成を行った。

- ・ 汐崎 順子（慶應義塾大学（非常勤講師））「子どもの読書能力と読書興味の現在：文庫の読書記録と利用行動の調査による実証的研究」

なお、2014 年度に研究助成を交付した者については、研究助成の要件（研究終了後 3 年以内の学会誌への投稿）を満たしているかどうかを調査し、必要に応じて対応した。

3. 刊行事業

(1) 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第 63 巻第 2 号（2017 年 6 月）、同第 3 号（同年 9 月）、同第 4 号（同年 12 月）、第 64 巻第 1 号（2018 年 3 月）を発行した。

(2) J-STAGE による『日本図書館情報学会誌』の提供

『日本図書館情報学会誌』について、編集委員会が事務局と協力して、J-STAGE を通じて提供した。ただし、最新 1 年分については会員のみへの公開とし、その対応として学会員への購読者認証サービスを開始した。また、『日本図書館情報学会誌』（1999 年～2016 年）および『図書館学会年報』（1997 年～1998 年）のオープンアクセスでの提供を行った。なお、非会員へのペーパービューについては費用対効果の面から実施を見送った。

(3) 「わかる！図書館情報学」シリーズの編集・刊行

第 4 巻『学校図書館への研究アプローチ』の編集を進め、刊行した。また、第 5 巻『公共図書館の新たな動向』（仮題）の企画を進めた。

(4) 『図書館情報学用語辞典』第 5 版の検討

『図書館情報学用語辞典』第 5 版刊行について検討するためのワーキンググループを組織し、検討を開始した。

4. 表彰事業

(1) 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

表彰内規に基づき、学会賞、論文賞、奨励賞の選考を行い以下の者に授与した。

- 1) 学会賞
該当なし

2) 論文賞

福田悟志・難波英嗣・竹澤寿幸「要素技術とその効果を用いた学術論文の自動分類」『日本図書館情報学会誌』第 62 巻第 3 号(2016 年 9 月), p. 145-162.

3) 奨励賞

杉山悦子「沖縄における学校図書館の展開過程—基準教育課程の編成を中心に：1954-1960—」
『日本図書館情報学会誌』第 63 巻第 1 号 (2017 年 3 月), p. 1-19.

(2) 優秀発表賞の選考・授与

2017 年度春季研究集会、第 65 回研究大会における口頭発表について、研究内容・発表技法という観点から優秀発表賞の選考を実施した。審査の結果、以下の登壇発表者に対して優秀発表賞を授与した。

・2017 年度春季研究集会

該当なし

・第 65 回研究大会

田辺智子 (筑波大学大学院) 「公共図書館における評価の“利用”」

5. 連携・協力事業

(1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう、関係機関・諸団体との連携・協力を進め、後援依頼への対応を行った。

(2) 国際的研究活動の支援

図書館情報学関連の国際会議情報等を、学会のメールマガジンに積極的に掲載した。

(3) 学会国際化のための条件整備

学会国際化のために以下の条件整備を進めた。

・海外会員制度の整備

・学会ウェブサイトの英語版再整備の検討

・学会誌の「投稿規程」の英語版等の検討

・海外からの後援申込みの書式整備

6. 会員現況

2018 年 3 月 31 日時点での会員数は以下のとおり。

正会員 673 学生会員 54 団体会員 41 賛助会員 2 計 770

*参考 2017 年 3 月 31 日時点での会員数

正会員 682 学生会員 45 団体会員 40 賛助会員 2 計 769

第二号議案 2017年度決算報告・会計監査報告

1. 2017年度決算報告

(収入の部)

項目	予算(円)	決算(円)	備考
1 会費			
正会員	3,490,000	3,087,000	5,000円×544件+4,000円(前年過払い調整) + 13,000円(海外居住者) + 5,000円×70件(クレジット)
学生会員	132,000	99,000	2,000円×43件+1,000円(前年度不足分調整) + 2,000円×6件(クレジット)
団体会員	615,000	615,000	15,000円×41件
賛助会員	100,000	100,000	50,000円×2件
入会金	—	33,000	1,000円×33件
2 広告料	351,000	239,000	30,000円×4件, 25,000円×2件, 23,000円×3件
3 学会誌売上金	1,568,700	1,554,000	740冊×2,100円
4 印税	428,000	285,138	『図書館情報学用語辞典』第4版 103,473円 『わかるシリーズ』第1巻 23,435円, 第2巻 15,354円, 第3巻 142,876円
5 春季研究集会収入	229,000	308,000	参加費(306,000円), 論文集追加頒布(2,000円)
6 雑収入	20,200	123,433	著作権使用料(10,044円), 利息(24円), 春季研究集会論文集売り上げ(16,520円), 研究大会開催校寄付金(82,505円) 会費一時金(14,340円) 含む
7 前年度繰越金	3,819,160	3,819,160	
合計	10,753,060	10,262,731	

(支出の部)

項目	予算(円)	決算(円)	備考	
1 運営事業費				
理事会・常任理事会 開催費	981,100	647,600	交通費：理事会 交通費：常任理事会 日当：理事会 日当：常任理事会	261,800 247,800 60,000 80,000
会計監査実施費	35,700	35,760	交通費 日当 郵便費	26,680 8,000 1,080
委員会開催費				

研究委員会	104,420	99,040	交通費	62,680
			日当	36,000
			通信費	360
編集委員会	215,460	136,461	交通費	82,830
			日当	12,000
			通信費	8,555
			消耗品費	5,076
			非会員査読者謝礼	28,000
学会賞選考委員会	41,000	22,000	交通費	0
			日当	22,000
			消耗品費	0
総務委員会	97,320	9,051	交通費	0
			日当	0
			会議費	0
			サーバレンタル費	9,051
			学会ウェブサイト見直し WG	0
			交通費・日当	0
図書館情報学教育に 資する事業 WG	20,000	20,000	会場費	20,000
学会国際化事業 WG	11,400	12,996	日当	8,000
			ネイティブチェック費用	4,996
用語辞典検討 WG	32,000	8,000	日当	8,000
会報発行費	610,000	694,969	印刷費	284,148
			発送手数料	75,767
			封筒作成費	78,840
			郵便費	256,214
事務局運営費	1,919,108	1,961,884	業務委託費：株式会社ガリレオ ※業務委託費割引（2,916円）含む	1,590,630
			業務委託費：封筒・文書印刷料	116,670
			会費徴収手数料	15,747
			※会費手数料二重引き落とし返金 （173円）含む	
			郵便費	132,840
			振込手数料	15,120
			消耗品費	4,645
			春期大会・研究大会会場校会長挨拶 日当（春季2回，研究大会1回）	6,000
			事務局職員賃金	38,950
			事務局職員通勤手当	4,200
			研究大会会場校会長挨拶交通費	19,980
			雑費	2

			研究大会挨拶手土産費	3,810
			春季研究集会手土産品（2回分）	8,950
			誤入金の返金	4,340
			感謝状作成費	0
			備品費	0
2	研究促進事業費			
	研究大会開催費	300,000	100,000	案内発送費
				100,000
				事務局支援拠出金
				0
	研究大会シンポジウム開催費	52,000	65,852	非会員パネリスト交通費
				45,852
				非会員パネリスト謝礼
				20,000
	春季研究集会開催費	255,000	302,359	消耗品費
				432
				印刷費：発表論文集印刷
				137,538
				郵便費
				4,490
				会議費：茶菓，弁当
				3,467
				人件費：アルバイト代
				156,000
				振込手数料
				432
	研究助成費	300,000	300,000	研究助成金1名
				300,000
3	刊行事業費			
	学会誌発行費	2,367,368	1,463,052	印刷費
				1,061,829
				※印刷の版面ずれに伴う印刷費の値引き（54,000円）1件，広告調整費としての値引き（2,160円）1件を含む。
				郵便費
				185,440
				発送業務委託費（視覚障害者用PDFファイル手数料1,836円を含む）
				116,175
				封筒作成費
				47,768
				J-STAGE 搭載費
				51,840
				※64(1)の印刷費および郵便費（532,517円）については2018年度の支払いとなる。
4	表彰事業費			
	学会賞等賞金・賞状作成費	218,500	112,729	賞金（論文賞1件，奨励賞1件）
				100,000
				賞状作成費
				12,000
				郵便費
				729
				※欠席者発送用として
5	予備費	3,192,684	10,000	わかるシリーズ非会員謝礼図書カード代金（10,000円）
				10,000
	合計	10,753,060	6,001,753	

次年度繰越金	4,260,978
--------	-----------

2. 会計監査報告

会計監査の結果、事務処理、帳簿記入は正確に行われていたことを報告いたします。

2018年 5月5日 監事 葉袋 秀樹 (印)

2018年 5月5日 監事 渡辺 信一 (印)

第三号議案 2018年度事業計画案

1. 運営事業

(1) 定例（通信）総会の開催

投票締切日を2018年6月末日として定例（通信）総会を実施する。投票は郵送および電子投票による。

(2) 理事会・常任理事会の開催

下記の予定で、理事会・常任理事会を開催する。

1) 理事会

第1回 2018年5月13日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第2回 2018年10月21日（日） 明治大学（東京都千代田区）

2) 常任理事会

第1回 2018年4月21日（土） 明治大学（東京都千代田区）

第2回 2018年7月8日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第3回 2018年9月30日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第4回 2018年11月25日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第5回 2019年1月13日（日） 明治大学（東京都千代田区）

(3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として、2018年11月4日（日）に琉球大学（沖縄県西原町）を会場として会員集会を開催する。

(4) 会費改定の実施

学会の財政状況の改善ならびに図書館情報学の発展に資する事業整備・充実のため、会費改定を実施する。

(5) 規程・内規等の改正・整備

優秀発表奨励賞の開始に伴い、表彰内規を改正する。また会費改定に伴って日本図書館情報学会入会金・会費規程を改正する。また、内規等に関する整備を進める。

(6) 委員会の開催

下記の予定で、委員会・ワーキンググループを開催する。適宜メールによる審議・協議を行う。

1) 学会賞選考委員会 4回

2) 編集委員会 1回

3) 研究委員会 2回

4) 総務委員会 1回

5) J-STAGE 運営ワーキンググループ メールによる審議・協議のみ

6) 学会国際化事業ワーキンググループ 2回

7) 図書館情報学用語辞典編集委員会 2回

- (7) 図書館情報学教育に資する事業の計画策定・遂行
図書館情報学の現状に関するシンポジウムを開催する。
- (8) 会報の発行
『日本図書館情報学会会報』No.169（2018年4月）、No.170（同年6月）、No.171（同年10月）、No.172（2019年2月）を発行する（印刷版郵送・PDF版メール配信）。
- (9) 学会広報の推進
学会サイトの管理・更新（会報・メルマガの掲載を含む）、メールマガジンの発行などを進める。
- (10) 事務局業務の一部委託
会員管理、会費管理、発送業務等、事務局業務の一部を2017年度に引き続き、株式会社ガリレオに委託する。
- (11) 学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈
本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、その功績が顕著であると認められる個人会員に、感謝状を贈呈する。

2. 研究促進事業

- (1) 第66回研究大会の開催
第66回日本図書館情報学会研究大会を2018年11月3日（土）、4日（日）に琉球大学（沖縄県西原町）にて開催する。口頭発表に加えてポスター発表を開始する。
- (2) 研究大会におけるシンポジウム開催
第66回研究大会2日目午後、「図書館情報学における歴史研究の今とこれから」（仮題）をテーマに、シンポジウムを一般公開で開催する。
- (3) 2018年度春季研究集会の開催
2018年度春季研究集会を2018年5月12日（土）に早稲田大学（東京都新宿区）にて開催する。
- (4) 研究助成の募集・交付
図書館情報学振興のために、会員が個人として計画した研究に対し、研究の遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成する。

3. 刊行事業

- (1) 『日本図書館情報学会誌』の発行
『日本図書館情報学会誌』第64巻第2号（2018年6月）、同第3号（同年9月）、同第4号（同年12月）、第65巻第1号（2019年3月）を発行する。
- (2) J-STAGEによる『日本図書館情報学会誌』の提供
『日本図書館情報学会誌』電子版について、編集委員会が事務局と協力して、2017年度に引き続きJ-STAGEを通じて提供する。
- (3) 「わかる！図書館情報学シリーズ」の編集・刊行
第5巻『公共図書館の新たな動向』（仮題）の編集を進め刊行する。また、同シリーズの刊行は、第5巻で終了となるため、今後の新シリーズのあり方を検討する。
- (4) 『図書館情報学用語辞典』の改訂等に関する検討
『図書館情報学用語辞典』の改訂等に向けて検討を行う。

4. 表彰事業

(1) 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

- ・ 正会員の優れた著作で 2016 年度もしくは 2017 年度に発表されたものを対象として学会賞を授与する。
- ・ 『日本図書館情報学会誌』第 63 巻第 2 号から第 64 巻第 1 号までに掲載された論文を対象として論文賞を授与する。
- ・ 個人会員（若手研究者）の優れた著作で『日本図書館情報学会誌』第 63 巻第 2 号から第 64 巻第 1 号までに掲載されたものを中心に奨励賞を授与する。

(2) 優秀発表賞の選考・授与

2018 年度春季研究集会において優れた口頭発表を行った個人会員に優秀発表賞を授与する。

(3) 優秀発表奨励賞の選考・授与

第 66 回研究大会より優秀発表賞に代えて優秀発表奨励賞を新設し、新たな制度のもとで優れた口頭発表を行った個人会員（若手研究者）に優秀発表奨励賞の授与を開始する。

5. 連携・協力事業

(1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう、関係機関・諸団体との連携・協力を進める。

(2) 国際会議の広報の充実

図書館情報学関連の国際会議情報等を、学会のメールマガジンに積極的に掲載するとともに会員からの情報を募集する。

(3) 学会国際化のための条件整備

- ・ 海外からの後援申込の書式英語版整備
- ・ 学会ウェブサイトの英語版再整備
- ・ 学会国際化の方向性、国際的研究活動の支援の方法についての検討

第四号議案 2018 年度予算案

(収入の部)

項目	予算(円)	備考
1 会費		
正会員	3,720,000	現会員 668 人×5,000 円+未納分 56 件×5,000 円+10 件×5,000 円×2
学生会員	128,000	現会員 56 人×2,000 円+未納分 8 件×2,000 円
団体会員	615,000	現会員 41 機関×15,000 円
賛助会員	100,000	現会員 2 機関×50,000 円
2 広告料	339,000	30,000 円×4 件, 25,000 円×6 件, 23,000 円×3 件
3 学会誌売上金	1,560,300	定期購読 12,000 円×0.7×89 セット 747,600 個別購読 3,000 円×0.7×387 部 812,700
4 印税	239,000	わかる！図書館情報学シリーズ第 1 巻 1,800 円×50 部×0.1 9,000 わかる！図書館情報学シリーズ第 2 巻 1,800 円×100 部×0.1 18,000 わかる！図書館情報学シリーズ第 3 巻 1,800 円×100 部×0.1 18,000

		わかる！図書館情報学シリーズ第4巻 1,800円×800部 ×0.1	144,000
		『図書館情報学用語辞典第4版』	50,000
5 春季研究集会収入	229,000	2017年度春季研究集会収入:正会員 2,000円×100人+学 1,000円×5人+非 3,000円×8人	229,000
6 雑収入	20,100	著作権使用料他	10,000
		発表論文集収入:2,000円×5冊	10,000
		利息	100
7 前年度繰越金	4,260,978	*参考:2017年度 3,819,160	
合計	11,211,378		

(支出の部)

項目	予算(円)	備考	
1 運営事業費			
理事会・常任理事会 開催費	981,100	交通費: 理事会 245,800円(14人分)×2回 交通費: 常任理事会 50,700円(2人分)×5回 会議費	491,600 253,500 0
		宿泊費: 常任理事会(12,000円×1人)×5回 日当: 理事会(2,000円×24人)×2回 日当: 常任理事会(2,000円×8人)×5回	60,000 96,000 80,000
会計監査実施費	36,060	交通費: 30,060円(2人分)×1回 宿泊費 日当: (2,000円×3人) 会議費	30,060 0 6,000 0
委員会開催費			
研究委員会	104,420	交通費: 31,460円(3人分)×2回 日当: 2,000円×10人×2回 通信費	62,920 40,000 1,500
編集委員会	215,460	交通費: 84,460円(5人分)×1回 日当: 2,000円×9人×1回 通信費 宿泊費 会議費 消耗品費	84,460 18,000 13,000 12,000 0 60,000
学会賞選考委員会	41,000	非会員査読者謝礼 7,000円×4人 交通費: 3,000円(1人分)×1回 日当: (2,000円×3人×2回)+(2,000円×4人×2回) 計4 回分 消耗品費	28,000 3,000 28,000 10,000
総務委員会	41,900	交通費: (700円×1人+23,200円×1人)×1回	23,900

図書館情報学教育に 資する事業 WG	50,000	日当: (2,000 円×4 人)×1 回	8,000
		会議費	0
		サーバレンタル・ドメイン維持費	10,000
		シンポジウム講演謝金, 会場費	50,000
学会国際化事業 WG	16,000	日当:(2,000 円×2 人)×2 回	8,000
		後援申し込み書式・Web サイト英語版整備ネイティブチェック 費用	8,000
用語辞典編集委員会	64,000	日当:(2,000 円×4 人)×2 回	16,000
		交通費: (24,000 円×1 名)×2 回	48,000
会報発行費	704,000	印刷費: No.169,171,172(55,000 円×3 号)+No.170 120,000 円	285,000
		発送手数料: 20,000 円×4 回	80,000
		封筒作成費: 15,000 円×2 回, 17,600 円×1 回, 31,400 円×1 回	79,000
		会報郵便費	260,000
事務局運営費	1,502,960	消耗品費	10,000
		郵便費	42,000
		事務局職員交通費 840 円(1 名)×12 回	10,080
		事務局職員アルバイト代	105,600
		※会計処理補助 1 名(4,800 円×12 ヶ月), Web ページ更新(4,800 円×10 ヶ月)	
		業務委託費: 株式会社ガリレオ(12 ヶ月分)	987,480
		業務委託費: 封筒・文書印刷料	117,000
		業務委託費: 発送手数料	120,000
		会費徴収手数料	16,000
		振込手数料	20,000
		感謝状作成費	6,500
		会場校会長挨拶交通費(春季研究集会, 研究大会)	58,300
		会場校会長挨拶手土産(春季研究集会, 研究大会)	6,000
		会場校会長挨拶日当 2,000 円×2 回(春季研究集会, 研究 大会)	4,000
備品費	0		
2 研究促進事業費 研究大会開催費	300,000	案内発送費	100,000
		事務局支援拠出金	200,000

研究大会シンポジウム 開催費	83,000	日当(2,000円×6名) シンポジウムコーディネーター打ち合わせ交通費 非会員パネリスト交通費(1人分) 非会員パネリスト謝礼(1人分)	12,000 5,000 56,000 10,000
春季研究集会開催費	423,000	消耗品費 印刷費:発表論文集印刷 通信費 会議費:茶菓,弁当 人件費:アルバイト代 10,000円×13名 会場・備品借料:(会場借料:79,000円,備品借料:54,000円)	5,000 140,000 5,000 10,000 130,000 133,000
研究助成費	300,000	研究助成金 1件	300,000
3 刊行事業費 学会誌発行費	2,844,868	印刷費:64(1)-65(1)(427,000円×5号) 発送手数料:40,000円×5回 郵送費:66,500円×5回 封筒作成費: (角3封筒2,200部 34,020円 PP封筒1,300部 9,860円 保管料/年3,888円) J-STAGE掲載費:3,240円×40本	2,135,000 200,000 332,500 47,768 129,600
4 表彰事業費 学会賞等賞金 賞状作成費	218,000	賞金(学会賞:100,000円,論文賞・奨励賞:各50,000円) 賞状 6,000円×3件分	200,000 18,000
5 予備費	3,285,610		
合計	11,211,378		

第五号議案 日本図書館情報学会会費の改定について

【提案内容】

2019年度より、正会員の会費を8,000円に改定する。

【提案の趣旨と経緯】

前期及び今期の常任理事会では、学会の財政状況の改善を図るべく、取り組みをすすめてきたが、次年度への繰越金の経年的な推移を見ると、数年後に財政危機が生じる可能性を否定できないとの見解に至った。また、現在の財政基盤においては、学会の諸事業を最小限のものにすることが避けられず、図書館情報学の発展に貢献する活動に取り組む際の大きな制約になっていると認識した。

常任理事会では、会費改定を、財政状況の改善方策の選択肢に加える必要があるとの結論に至り、2016年度の会員集会で問題提起を行い、2017年度の第1回理事会での了承のもと、会費改定検討グループ(委員:小田光宏,倉田敬子,今井福司,三浦太郎,以下、「検討グループ」と記す)を組織し

た。検討グループでは、2017年10月に、中間案に相当する「日本図書館情報学会財政シミュレーション」として正会員8,000円、学生会員2,000円、シニア割引5,000円を提示し、賛否と意見を求めるアンケートを行った。その結果（賛成70、反対13）をもとに、2017年度第2回理事会、会員集会においても議論を重ね、会費改定そのものには、一定の理解が得られたと判断した。ただし、改定額とシニア割引の適用、改定額に基づく事業展開に関して、様々な意見が寄せられた。常任理事会では、これを受けて具体案を見直し、正会員の会費のみを改定する修正案を会報No.168で提示し、さらに意見聴取を続けた。

こうした経緯に基づき、今般、2018年度第1回理事会の承認を経て、2019年度より、正会員の会費を5,000円から8,000円へ改定する案をここに提示する。

第66回研究大会のご案内

研究委員会／第66回研究大会事務局

第66回日本図書館情報学会研究大会を下記のとおり開催いたします。

開催要領

日 程： 2018年11月3日（土）、4日（日）

会 場： 琉球大学 千原キャンパス 教育学部棟

事務局： 〒903-2013

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学教育学部

望月道浩研究室内 日本図書館情報学会第66回研究大会事務局

Tel :098-895-8422(研究室直通)

E-Mail:jslis@w3.u-ryukyu.ac.jp

参加費（予定）：正会員4,000円、学生会員1,000円、非会員6,000円

懇親会費（予定）：4,000円

宿泊案内

研究大会事務局では宿舍の斡旋はいたしませんので、ご了承ください。

秋の観光シーズンのため飛行機や宿泊場所の手配は、早めにされることをお勧めいたします。

プログラム（予定）

11月3日（土）		11月4日（日）	
12:30-13:00	受付	9:00-9:30	受付
13:00-13:15	開会式	9:30-11:30	研究発表
13:30-17:00	研究発表	New 11:30-13:00	ポスター発表、昼食
17:30-19:30	懇親会	13:10-14:10	会員集会
		14:10-17:00	シンポジウム
		17:00-17:10	閉会式

- ・ 大会2日目の昼に「ポスター発表」を実施します。発表申込と当日の参加をお願いいたします。
- ・ 大会2日目の午後には「会員集会」を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

- ・ 大会 2 日目のシンポジウムについては、「図書館情報学における歴史研究の今とこれから」をテーマとして開催予定です。シンポジウムは一般公開といたしますので、研究大会参加者以外の方でも無料で参加することができます。
- ・ 研究大会開催日（土・日のため）は、モノレール首里駅から琉球大学までのバスが運休となります（那覇空港から琉大入口（高速バス）、及び、那覇バスターミナルから琉球大学までのバスは運行されます）。そのため、沖縄観光コンベンションビューローの助成を得て、3日・4日ともに帰路（琉球大学からモノレール首里駅まで）に貸切バスを運行します。詳しくは9月に発送する「第66回日本図書館情報学会研究大会ご案内」を参照ください。

■ 発表募集要領

- (1) 応募条件：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合、第一発表者が正会員または学生会員であること）

研究発表の申込は、申込時点で既に正会員・学生会員である者に限ります。申込時点で入会が承認されていない場合は、研究発表の申込はできません。発表を希望する方で、未入会の方は、発表申込締切前に入会申込締切日となる8月20日（月）までに入会申込を行い、入会の承認通知が届いた後に、発表の申込をしてください。

- (2) 発表形態と発表時間

① 口頭発表：1件 30分（発表時間 20分、質疑応答 10分）

② ポスター発表：1セッション 90分（発表者はポスターセッション中、ポスター付近に立ち、発表内容を適宜説明してください）。

注意：第一発表者として口頭発表1回、ポスター発表1回申し込むことができます。ただし口頭発表1回、ポスター発表1回を同じ内容とすることはできません。発表形態は、申込時に発表申込申請フォームで「口頭発表希望」か「ポスター発表希望」にチェックを入れてください。口頭発表とポスター発表を各1回申し込む場合は、それぞれに申請してください。

- (3) 発表言語：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も、発表申込、発表論文作成、発表、発表概要提出まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが、多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み、基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。

- (4) 申込方法：学会ウェブサイトから発表申込申請フォームにアクセスの上、申し込んでください。なお、受理された申込書は ウェブサイトで公開する予定です。

- (5) 申込締切：2018年9月3日（月）24時必着

申込直後に申込を受け付けた旨のメールを送付します（受理の連絡は別途、メールにて通知します）。申し込んだにもかかわらずメールが届かない場合、トラブルの可能性がありますので、研究委員会（kenkyu@jslis.jp）まで連絡してください。

- (6) 発表論文の提出：発表申込が受理された場合には、A4判で口頭発表は4枚、ポスター発表は2枚の発表論文を作成し、2018年10月3日（水）までに原稿を研究委員会ウェブサイトにご送付いただきます。なお、発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などに関しては、発表申込受理者に連絡します。

- (7) 発表のための機材と資料等

① 口頭発表：パソコンによるディスプレイ（PowerPoint）装置が使用できます。その他の機材をご要望の場合には、研究委員会（kenkyu@jslis.jp）まで問い合わせてください。当日の資料配布

は、原則として認めていません。詳しくは、「研究大会・春季研究集会における発表のルールについて」をご確認ください。

- ② ポスター発表：ポスターのサイズはA0判です。資料配布は自由です。ノートパソコン等によるデモンストレーションが可能です。電源は利用できません。パソコンを置くための台を希望する場合は、申込時に発表申込申請フォームの備考欄に「ポスター発表用 PC 台希望」と記入してください。

(8) 優秀発表奨励賞

対象は口頭発表を行った若手研究者（目安として研究歴10年以内）とします。授与のための審査を希望する者は、自己申告（発表申込申請フォームの「優秀発表奨励賞審査希望」にチェック）してください。発表内容、発表技法の観点から、優秀発表奨励賞選考委員会で審査を行った結果、優れた口頭発表を行い、将来の活躍が期待される若手研究者（正会員、学生会員）に授与します。受賞者は、学会ウェブサイト並びに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表します。

■ 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ、発表申込をしてください。

- (1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において第一発表者（＝発表論文の第一著者）として口頭発表1回、ポスター発表1回申し込むことができる。
- (4) 共同研究の第一発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 口頭発表の登壇者は、原則として発表論文の第一著者とする。
- (6) 発表論文の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (7) 発表者は発表申込申請フォームから発表論文をアップロードする際、本学会が教育・研究の目的で発表論文を印刷物およびウェブ等の電子メディアで使用することを許諾するものとする。
- (8) 指定の期日までに発表論文を提出しなかった者は、発表を取り下げたものとみなす。
- (9) 発表申請受理後のプログラム(発表タイトル、発表者、発表内容、発表スケジュール)の変更は原則として認めない。
- (10) 発表当日の資料配布は、原則認めない。何らかの理由で資料配布を希望する場合は、発表当日の1週間前までに研究委員会宛に、資料に配布の理由を添えて申請し、許諾を得る。資料配布が認められた場合は、印刷・配布・残部回収は発表者自身で責任をもって行う。ただしポスター発表においては、資料配布は自由とする。

■ 発表者への諸注意

口頭発表者

- (1) 発表会場へは遅くとも、セッションの始まる10分前には到着するようにしてください。
- (2) 会場の備え付けの発表用PCに発表用ファイルをコピーしてください。また、セッションを円滑に進行するため、発表者は会場前方に着席してください。
- (3) 本学会発表では、原則として会場に備え付けのPCでの発表としています。持ち込みPCの利用が必要となる場合は、発表申込申請フォームの備考欄に＜PCのつなぎかえの希望＞について、必ず

明記して下さい。事前申請を行わなかった場合、他の発表者の不利益になる可能性があるため、持ち込み PC のつなぎかえはできません。

ポスター発表者

- (1) ポスターは、セッションの始まる 10 分前までに掲示してください。指定した時間までにポスターを貼付できない場合は、発表を辞退したものと見なします。
- (2) 掲示するための用品は事務局が用意したものを使用してください。
- (3) セッション終了後、閉会式までに掲示を撤去してください。
- (4) セッション中、発表者は、ポスターの前に立ち、参加者に研究内容を説明したり質問に答えるようにしてください。

2018 年度 研究助成の決定

2018 年度の研究助成について 7 件の応募があり、研究委員会にて審議いたしました。審査は、例年の手順・方法を踏襲し、あらかじめ定めた評価基準に従って研究委員が採点した結果を総合して、助成対象を決定することにしました。評価は、申請者が特定されないよう、氏名等個人が特定される情報を伏せて、申請者名を知りうる立場にある研究委員を外して行いました。評価基準は科学研究費に準拠して、(1) 研究目的の明確さ、(2) 研究の独創性、(3) 遂行可能性、(4) 成果の公表可能性、(5) 申請金額の妥当性、(6) 研究組織の適切性、の 6 点を参考に、5 段階で総合点をつけ、総合点の平均が 3 点以上を助成の最低基準としたうえで、議論の結果、下記の 1 件を助成対象としました。

(研究委員会)

研究代表者：川瀬 直人（国立国会図書館）

研究題目：オーラルヒストリーによる機関リポジトリ史

助成額：275,000 円

役員会等の記録

2018 年度第 1 回常任理事会（開催記録）

日時：2018 年 4 月 21 日（日）13:00～19:30

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー19 階 共同実習室 2

出席者（敬称略）：小田，倉田，青柳，浅石，今井（記録），岩崎，荻原，三浦

欠席者：なし

議事内容：

1. 会費改定案（理事会，定例総会議案）の作成
2. 第 1 回理事会の議題整理
3. 2020 年度研究大会開催校の変更
4. 2017 年度事業報告
5. 2017 年度決算報告
6. 2018 年度事業計画案

7. 2018 年度予算案
8. 会費改定（案）
9. 表彰規定改正（案）
10. 春季研究集会におけるプログラム問題
11. 会員資格変更に伴う会費請求のタイミングおよび学生会員の扱いについて
12. その他報告

2018 年度第 1 回理事会（議事抄録）

日時：2018 年 5 月 13 日（日）10:30～13:30

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 19 階 共同実習室 2

出席者（敬称略）：小田，倉田，青柳，安形輝，安形麻理，浅石，今井（記録），
泉山，岩崎，荻原，岸田，田窪，佐藤，高久，松本，三浦，山本，吉田

欠席者（敬称略）：池谷，石田，河西，高山，松林

列席（監事）：薬袋

< 報告事項 >

1. 各委員会からの活動報告

資料に基づき，各委員会から今年度の活動が報告された。

2. 内規の改正について

青柳研究委員長より優秀発表奨励賞を開始するにあたり，表彰内規，研究委員会内規を改正することが報告された。

3. 図書館情報学用語辞典について

資料に基づいて，三浦常任理事より現時点のワーキンググループでの検討について報告が行われた。用語辞典改訂については，学会が専門用語をコントロールする意義や記念事業を考えるという意見も頂いた。図書館情報学用語辞典の刊行元から，1つの項目に対して見開き 2 ページもしくは 4 ページの解説を行う中項目主義の事典刊行を打診されたことを踏まえ，常任理事会では，中項目主義の事典刊行の可能性も視野に入れながら，最終検討を行う。

4. その他

2017 年度第 2 回理事会以降の常任理事会議事録について資料の提示が行われ，確認が行われた。今井事務局長から，2017 年度末現在の会勢について報告された。

< 協議事項 >

1. 2017 年度事業報告

小田会長から，資料に基づいて 2017 年度の実業報告の説明があり，審議を行ない，これを承認した。

2. 2017 年度決算報告・会計監査報告

今井事務局長から，資料に基づいて 2017 年度の決算報告の説明があり，審議を行なった。薬袋監事から，会計監査に関して，証憑の整理，帳簿の記帳などの会計処理が適正に行われていた旨の報告があ

った。事業については、会員集会の議事録を公開して頂きたいとのコメントが出された。いくつかの質疑の後、これを承認した。

3. 2018 年度事業計画案

小田会長から、資料に基づいて 2018 年度事業計画案の説明があり、審議を行なった。一部の項目に修正を加えた上で、原案を承認した。

4. 2018 年度予算案

今井事務局長から、資料に基づく説明があり、審議を行なった。方向性を確認した上で、原案を承認した。ただし、一部の項目を修正し、理事会メーリングリストへ修正版を提出することが確認された。

5. 会費改定（案）

今井事務局長から、会費改定（案）に対する会員からの意見表明の結果が紹介され、審議を行った。正会員の会費を 8,000 円にする原案を承認した。

2017 年度会員集会記録

日時：2017 年 11 月 5 日(日) 13:00～

場所：椋山女学園大学メディア棟 G 階 001 教室

1. 会勢報告

2017 年 10 月 1 日現在会員数が 786 名（昨年度末時 769 名）であることが報告された。

2. 2017 年度定例（通信）総会の議案投票結果報告

有権者数 667 名、投票総数 329 名（有効投票数 326 名）ですべての議案が承認されたことが報告された。

3. 委員会等報告

各委員長・担当常任理事より、2017 年度の活動状況が報告された。

4. 会費改定検討グループの検討報告・アンケート実施結果

同グループを組織した背景と作業課題に関して報告があった。その上で、配布資料に基づいて、財政シミュレーションの手順に関する説明がなされ、その結果、推奨する会費改定額として、正会員 8,000 円、学生会員 2,000 円、シニア割引 5,000 円（正会員会費より 3,000 円減免）が、現時点での案となっている旨の報告があった。また、この推奨額に基づいた場合、年額約 90 万円の余裕が生まれることから、研究助成の増額、大学院生の研究発表補助、学会誌編集作業の改善、調査研究事業の実施といった、可能になる事業展開例が示された。

さらに、11 月 2 日に締め切った会費改定に関するアンケートの結果として、賛成 70 名、反対 13 名であること、「シニア割引に賛成ならびに反対の意見がある」「調査研究事業ではなく別の事業に取り組むべきである」「学会発表補助について実務家へも広げて欲しい」といった意見が寄せられた旨の報告が

あった。また、理事会において、フルタイムの職を持たない会員への会費減免措置に対する要望が述べられたことが、紹介された。

5. 意見交換・質疑

会費改定に関して、次のような意見交換ならびに質疑応答を行なった。

[意見]

- ・ シニア割引を考慮していただくことは、シニアの会員にとってありがたいことではあるが、フルタイムで働いていない若い人達のことも考えなくてはならない。また、日本図書館情報学会はアカデミックな活動も活発に行なっていかなければならない。その意味では、シニア割引はこの学会では一切考慮しない、と言っても良いのではないか。少子高齢化の時代になると年長の会員はお金を出しにくくなってくる可能性もあるが、私どもとしては十分な生活費をもっていないくても、学会費として正会員としての任務を果たすべきではないか。

[質疑]

質問：アンケートにも答えたが、そもそも提案の会費で実行しても、現在の会費の納入率を考えた場合、トントンである。提案は、100%会費が集まることが前提であり、私の計算だと3年くらいで赤字になってしまう。会費の納入率の改善を考えないと、3年くらいでまた会費の値上げをする必要が出てくるのではないか。

回答：2017年度は現時点で64%の納入率である。3年間未納の者は7名程度しかいない。また、今年度からクレジットカード決済や、大学の書式にあわせて請求書・納品書が発行できるようになり、また、年度末の督促を行なっているため、8割から9割の納入率を確保できる見込みである。正確な数字を申し上げますと、2017年度は、未納がない人が66%で、今年度のみ未納の人を加えると91%、それ以上の未納の人は70名程度である。

[意見]

- ・ 1年だけでなく、3年以内に収めていただくことを考えると、ある程度の実現性がある提案である。また改善点として、新たな事務委託先において、納入における利便性が高まっている。

最後に、会長から会費改定についての今後の進め方についての説明があった。

- ・ アンケートはあくまで意向の調査なので、もう少し会員からの意見を踏まえてということは何らかの形で試みたい。あわせて、会費を改定するならば、入会金・会費規程を改正する必要がある。これは理事会の所管事項だが、理事会における入会金・会費規程改正だけで終わりにしてよいかどうかを常任理事会で検討しようとしている。
- ・ 記録によると、正会員の会費は1988年から30年間据え置きであり、かなり大きな変更である。定例総会の議案にした方がよいのではないかとこの考えもあり、これから常任理事会で検討する。これを進めると、最短で、2018年度の定例総会にかけることになり、承認されたならば、入会金・会費規程の改正を行なった上で、2019年度から新会費の施行となる。

6. その他

特になし。

以上

委員会・事務局より

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」,「執筆要綱」,『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール」をご参照ください。
(編集委員会)

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (journal@jslis.jp)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2017年10月15日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/c_reg_171015.pdf
- ・ 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2016年10月8日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w_out_161008.pdf
- ・ 『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール 2016年10月8日改訂
http://old.jslis.jp/journal/JSLIS_review_rule161008.pdf

視覚障害者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障害者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』の PDF 版データを提供いたします。ご希望の方は、事務局 (office@jslis.jp) までメールでご連絡ください。お心当たりの方は、対象となる会員の方にお声かけいただければ幸いです。事務局より、障碍の程度をお伺いした上で、提供いたします。

(編集委員会)

メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会 (somu@jslis.jp) まで電子メールでご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDF の添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。
(総務委員会)

会費納入について

2018年度の会費請求は6月号の学会誌に郵便振替の払込書を同封致します。払込書でお支払い頂くか、学会ウェブページからアクセスできる学会費クレジット支払いシステムでの支払いをお願いいたします。

なお、翌年度から会員種別変更が見込まれる場合、前年度からも受付を行っておりますのでお早めの手続きをお願いいたします。2018年度の会費をすみやかに納入してください。

(事務局)

【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム (SOLTI) から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページ (http://www.jslis.jp/membership_3.html) に掲載されている「会員情報変更申請書」にご記

入いただき、事務局（office@jslis.jp）までメールでお送りください。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局（office@jslis.jp）までご連絡ください。なお、年度内退会の締め切りは3月20日までとなり、それ以降は翌年度の会費請求が発生いたします。（事務局）

学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。（編著者名の五十音順）

- ・ 小西和信監修 IAAL 認定試験問題集編集委員会編 『IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験過去問題集：情報サービス—文献提供編』 樹村房 2018年
- ・ 小西和信監修 IAAL 認定試験問題集編集委員会編 『IAAL 大学図書館業務実務能力認定試験過去問題集：情報サービス—総合目録—図書編』 樹村房 2018年
- ・ 志保田務, 大城善盛, 河井弘志, 中村恵信編 『日本図書館学の奔流：岩猿敏生著作集』 日本図書館研究会 2018年
- ・ 柳与志夫, 田村俊作編 『公共図書館の冒険：未来につながるヒストリー』 みすず書房 2018年
会員のみなさまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局（白百合女子大学 今井福司研究室内宛）まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

（事務局）